第1課　万物の回復

【暗唱聖句】

「神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。」創世記1:27

【今週のテーマ】

罪に支配されたこの世界は永続的なものではなく、やがてイエスが再臨され、終わりを迎えます。そして新しい永遠のみ国においてすべてのものが回復されます。しかし、回復が始まるのを再臨のときまで待つ必要はありません。それはすでに始まっています。

「だから、キリストと結ばれている人は誰でも、新しく創造されたものなのです。古い者は過ぎ去り、新しいものが生じた」第二コリ５:１７

そして、御子の姿に似る（回復）ように予め定められています。

「神は前もって知っておられた者たちを、御子の姿に似たものにしようと予め定められました…」ローマ8：29

また、わたしたちは、ほかの人の回復に対しても働くことができます。

【日曜日】神の形

「神は言われた。『我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう』創世記1：26

我々…複数形　造ろう…単数形　三位一体の神をあらわしている

かたどり（かたち）…形、姿が似ている　（ツェレム）

似せて…性質が似ている　（デムート）

神は人間を内（デムート）も外（ツェレム）も似せて創造された。親子も外見だけでなく、性格も似ていることが多い。子が似ているのは、親の喜び。

「アダムが創造主のみ手によって創造されたとき、彼の肉体と知性と霊性は、神のみかたちをそなえていた」教育Ｐ４

人間は進化した猿ではない。人間は特別。

前頭葉…霊性、道徳性、意思など内面をつかさどっているが、脳に占める前頭葉の割合は、猫・3.5％　犬・7％　チンバンジー・17％　人間33.38％

「あなたは心（知性、精神）を尽くし、魂（霊的なもの）、力（肉体）を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」申命記6：5

「あなたがたの霊も魂も体も何一つ欠いうけたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように」第一テサ5：23

これらの聖句は、神のかたちに造られた人間は、こういったすべての面を持ってつくられました。

【月曜日　堕落とその影響】

人間が創造されてから罪に陥るまで、どのくらいの日数が経過しているか聖書に書かれてありません。しかし、罪を犯した結果どうなったのかについて知ることができます。

創世記3：8～19

・自分たちが裸であることがわかった。光の衣がなくなった。10

・主が怖くなって、身を隠した。主との麗しい関係を失った。10

・自分が犯した罪を、人のせい、悪魔のせいにした。12、13

・女は産みの苦しみが生じた　17

・男は生涯食べ物を得るために苦しむようになった　18

・土にかえる（死）　19

わたしたちはみな、この罪の結果生じた世界に生きています。しかし、この世界はやがて終わりが来ます。

【火曜日　敵意と贖い】

「お前と女、お前と女の子孫の間にわたしは敵意を置く」創世記3：15

罪の結果、人間は神との間の平和を失いました。ローマ5：10では神と人が「敵であったとき」と言っています。しかし、本来人間にとって敵であるのは、神ではなく悪魔です。だから、神は悪魔と人間との間に敵意を置かれ、本来の敵である悪魔に敵意を向け直すようにされました。悪魔の恐ろしい本性を知り、それを憎むことによって、自分の罪を真に悲しみ、憎み、キリストの十字架に目を向け、そこに神の愛を見出すように導かれるでしょう。

わたしたちは罪を犯しています。その罪に対しての責任が求められます。それは永遠の滅びでした。イエス・キリストはわたしたちが受けなければならない法的結果を代わりに受けてくださり、わたしたちを贖われました。わたしたちは永遠の滅びから解放されました。贖われたわたしたちは、イエスのゆえに罪を赦され、義とされました。この事実が、万物更新において重要な基礎となります。

【水曜日イエスにおける回復】

「わたしの子供たち、キリストがあなたがたの内に形づけられるまで、わたしはもう一度あなたを産もうと苦しんでいます」（ガラ4：19）

パウロはわたしたちの内にキリストが形づけられるまでもう一度あなたを産もう、つまり新たに生まれ変わらせようと苦しんでいると言います。この言葉からわかることは、わたしたちは、わたしたちの内にキリストが形づけられるために、いま神を信じ、生きているということです。しかし、神を信じていると言いながらも、それがまだ不完全であるものもいて、だからパウロは何とかしたいと思っているのです。エレン・Ｇ・ホワイトは、わたしたちの内にキリストが形づけられることを人間の回復と表現しました。本来神によって創造されたときの状態への回復です。

「最初に神はご自分のかたちにかたどって人を創造された。神は人間にすぐれた性質をお授けになった。人間の心は良く均衡がとれていて、そのすべての能力には調和があった。しかし、堕落とその結果によって、これらの賜物はゆがめられてしまった。罪は人間の中の神の形をほとんど消し去った。これを回復するために救いの計画が立てられ、人間に猶予の期間が与えられた、最初に創造されたときの完全な状態に人間を回復することが、人生の大目的であって、その他のすべてのものの根底に流れる目的である」希望への光Ｐ３１１

罪の結果、神にかたどり、神に似せて創造された人間の優れた性質はほとんど失われてしまいました。だから、神はこの失われてしまった、人間の本来創造された姿に回復するための計画を立てられました。それがわたしたちの内にキリストが形づけられていくことによって、神に似たものへと回復していくことなのです。そして、ここにこそ人性の大きな目的があるのです。この神の御形への回復は再臨において完全な完成を見ますが、しかし、神を信じ、キリストにつながり、み言葉に生きていく中で、すでに回復は始まっているのです。

【木曜日　教会の回復の役割】

教会の役割は、多くの人を全人的に回復させていくことです。中風の男性の物語は、キリストが肉体的な癒しだけではなく、罪を赦されることで心の重荷からも解放された、全人的な回復の良い例です。

教会も同様に、人々の全人的回復を目指すことが使命です。

「・・・わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである」ヨハネ10:10

「・・・悪魔の働きを滅ぼすためにこそ、神の子が現れたのです」第一ヨハネ3:8

イエスは悪魔によってもたらされた死を豊かな命に変えるために来られました。教会も同様に、滅びに向かっていた人々を、イエス・キリストの名によって癒し、豊かな命に至る道を示していくようにと召されています。

【金曜日】　さらなる研究